

さくらじま

137号

発行：
公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和沖
鹿児島市鴨池新町1-7県社会福祉センター内
Tel 099 (213) 4055
Fax 099 (213) 4051

URL:<https://kagocsw.jp> E-mail:jacsw@po.minc.ne.jp

新年のごあいさつ

公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和沖

あけましておめでとうございます。

コロナ禍で慣れない新年になったかもしれませんが、輝かしい新年をお迎えのことと思います。旧年中の当会へのご厚情に感謝申し上げます。本年も同様にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

去年は新型コロナウイルス対策の年でした。

「東京オリンピック・パラリンピック」が今年に延期され、「かごしま国体・全国障害者スポーツ大会かごしま大会」が2023年開催となりました。イベント以外にもいろいろな支障・変更があり、医療・福祉の第一線の皆様はもちろん、様々な分野で、各家庭でも、それぞれが大変な日々を送り、大変な苦労を経験したと思います。

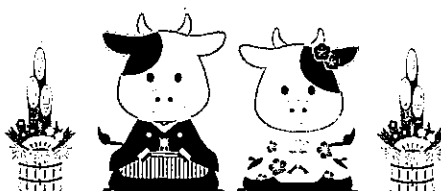
本会でも、相談業務などに影響があり、会議や研修会等がオンライン方式で開催されました。昨年3月の臨時総会は中止し、5月の定期総会も結果として変更を加えて開催しましたが、当日は密状態で、会議時間も長く、クラスターになりかねない危険性を指摘する意見がありました。一方で以前の開催方法を求める意見も寄せられています。「集まる」ということが重要な課題となったことを痛感しています。

この状況下にあっても、できれば人と人との繋がりをさらに大事にし、知恵を集結して工夫を凝らし、逆境を逆手に取って人と人との繋がりを更に強化できるような仕組みにトライ出来ればと考えます。一方で、薬でもワクチンでも何でも良いので早くこのウイルス流行が克服され、以前の生活様式に戻れたらと願っているのも確かです。本会でも具体的活動方法などについて、皆様の知恵結集を求めることがあるのではと思います。

去年の新年あいさつで、各地区支部・委員会の活動の活性化、持続可能な会運営について触れました。コロナ禍の中ですが、対応したいという思いは変わっていません。その他、このウイルス流行克服の一助のために出来ることに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

新型コロナウイルスの話ばかりになりましたが、この場を借りて「さくらじま」原稿募集をします。いろいろな内容での原稿をお待ちします。気楽に投稿してください。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉士初任者研修を受講して

諸方 哲

社会福祉士の資格を取得して15年以上経つが、初心に戻って勉強する機会になれば…と思い、今回、初任者研修を受講した。実際、受講された方は私以外は資格取得から数年しか経っていない方ばかりだった。

とはいえ、それぞれしっかりした職場での経験を積まれ、社会福祉士としての考えがしっかりされていて、最もベテランであるはずの私はタジタジだった。

研修の内容は初心に戻ろうと考えた私には充実したものであった。対人援助とは「苦しみを和らげ、軽くし、なくすこと。」という定義から研修は展開された。

研修後半の各受講者のレポートも「苦しみ」と「関係性」をキーワードに検討された。私を含め、各受講者とも新たな視点から事例を検討することができ、明日からの仕事に活かしている。と元気をもらったものであった。

次回の初任者研修も予定されているようである。COVID-19の影響か、今回は参加者が少ない印象であったが、ぜひ、資格を取られたばかりの方は参加されてはいかがだろうか。そして、許されるものであれば、私のような経験年数の長者も初心に戻るつもりで参加してはいかがだろうか？



日高 久美

講師の坂井氏より、援助とは「苦しみを和らげ軽くしなくすることである」(村田久行氏)とお話があり、「苦しみ」に焦点を当てるという視点に驚いた。私はこれまで、当事者の「意向」や「想い」を汲み取り、今後の「人生計画」や「未来への展望」のようなポジティブな面に焦点を当てて対人援助を行ってきたが、「意向」や「想い」の基にはやはり「苦しみ」や「不安」もあったのでははないだろうかと考えさせられた。また、その「苦しみ」や「不安」は当事者自身のこれまでの「体験」から出てくるものであり、それこそが様々な言動の元となることを知った。今回の研修は、対人援助についての考え方を深め広げる大変良い機会となった。



有村 繁樹

今回、私は社会福祉士初任者研修を受講しました。社会福祉士を勉強し、国家試験を受験し社会福祉士を取得し現業のケアマネージャーをしながら、ソーシャルワーク活動を実践しています。日々の業務の中で、相手から「社会福祉士は何をしてくれるの。」「ソーシャルワークって何なの。」と問われる事があります。私が相手に返す言葉は「お困りごとに対して、一緒に考え支援を考えたり、繋いだりし、

少しでも安心して生活できるようにお手伝いする仕事です。」と返事しています。返事の内容があまりに抽象的で相手はしっくりこない表情をされる方もいらっしゃいました。自分も社会福祉士・ソーシャルワークについて、しっかり言語化し明確に伝える自信がない日を送っていました。今回、社会福祉士初任者研修を受講して、自分の心の中にあったモヤモヤが無くなり社会福祉士として自信が持てる機会となりました。社会福祉士は対人援助がメインです。対人援助は人を相手にします。クライアントが抱える苦しみや困り事を対人援助者がしっかりと向き合い把握し、その人が苦しみ等から解放できるように促すことだと気づきました。ニーズ論を見るとニーズには限界があり、場合によってはニーズが援助者のストレスになります。この事は業務をする中で私も実感していました。一方、対人援助論を見てみると焦点はニーズではなく苦しみである。私は後者である対人援助論において出てくる「苦しみ」を和らげたり、解決できる対人援助者つまりは、社会福祉士・ソーシャルワーカーとして明確に支援していきたいと思う。私は社会福祉士としてスタートに立ったばかりなので、これからも長く走り続けるためにも生涯研修を通して自己研鑽に努めたいと決意が固くなりました。個人一人では出来ない事が多いので、「繋げる力」や「チーム支援」「関係性の構築」ができる社会福祉士を目指していきます。



堂園 珠代

私は今まで「対人援助」について考えたことはありませんでした。研修中、自分自身を振り返ると、その「人」ではなく、その「瞬間」、その「場面」に目を向けて対応しかしていなかったと反省しています。客観的状況だけではなく、気持ちが変わるのを支えられるような支援ができるよう頑張りたいと思いました。

研修では、各々の意見や困っていることなどを発表しながら進めていただいたおかげで、お互いの分野や仕事内容は異なっても思いは似ている部分が多く、一方で視点というものは様々であることを感じました。

この研修でさまざまな視点で物事を考えていく機会をいただきとても勉強になりました。また、視点の違う意見がとても励みとなりました。今後、私もいろいろな視点で物事を見ることができるようになりたいと思います。講師の先生方、みなさまありがとうございました。



2020年度新入会員自己紹介

- ①名前 ②勤め先 ③職種 ④仕事内容
⑤社会福祉士を目指したきっかけ
⑥今後の目標や抱負など

①久留 千佳 会員

②NPO法人 エコサポートTGAL

⑤高校3年生の時にそばにいて下さるだけで安心感を得ることのできる看護師さんに出会いました。ちょうど進路を考えないといけない時期でした。この流れであれば看護師を目指すところですが、手先の不器用さを考え、即断念しました(笑)

他の具体的な職業は思いつきませんでした。出会った看護師さんのように人の気持ちに寄り添えることができるようになりたいと思いました。福祉を専門的に学ぶことのできる鹿児島国際大学の社会福祉学科に進学を決めました。授業で社会福祉士の資格を生かして現場で活躍されている方々の話を聴きました。どの方も仕事にやりがいを感じており、話されている姿が生き生きとされていました。社会福祉士の資格に魅力を感じました。

実習で出会った利用者さんたちの笑顔、職員の方々からの励ましのお言葉が社会福祉士を目指したい気持ちをより確かなものにしてくれました。

⑥知識がほぼないうえ現場経験もないので、一から勉強を頑張ります。机上の勉強だけではなく、活動にも参加して学びたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

①大窪 健悟 会員

②かのや乳児院

③家庭支援専門相談員

④公的機関や地域の関係機関と連携を図り、保護者への支援を通じて子どもを支援する。

⑤業務を通して勉強不足を実感し、また福祉の情報に触れる機会を通して学びたい気持ちが強かったためです。

⑥見分を広めたいことと、それらの情報の活用等を柔軟に考えられるようになりたいです。

①相蔵 愛海 会員

②社会福祉法人潤心会 かのや乳児院

③心理療法担当職員

⑤入所児童やそのご家族の支援に携わるなかで、ソーシャルワークの知識や視点も必要だと感じたからです。

⑥社会福祉士として従事していないこともあり、資格取得後もこれまで入会を迷っていましたが、これを機に様々な福祉分野に携わる先輩方から学ばせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

①堂園 珠代 会員

⑤過去の経験より社会福祉に関する知識を身につけて、周りの人たちが少しでも不安なく生活できるようになれば良いなと思ったからです。

⑥まだまだ知らない事が多く、経験もほとんどないので、これからはいろんな研修や勉強、経験を積み重ねて社会福祉士として支援ができるように頑張っていきたいです。

①日高 久美 会員

②相談支援センターやくしま

③相談支援専門員

④屋久島町自立支援協議会事務局、指定特定相談支援、指定障害児相談支援、一般相談

⑤以前の職場に勤めていた頃、地域で連携して支援できるようなネットワークを構築するお手伝いがしたいと思い、社会福祉士を目指しました。

⑥社会福祉士会に入会し、多くの方とつながりを持ち、知識・認識を深めていきたいと思っています。また、より住みやすい地域となるよう、少しでもお手伝いができればと考えています。